

読む人の
幸せを
心に願って
作る

見え方・感じ方

同じ話を聞いていても感じ方は人それぞれに異なり、街を歩いていて同じ道でも行きと帰りとは景色の見え方が違ってきます。

先日、学生時代の先輩が知人から新しい仕事の取り組みについて話を聞いたそうです。先輩は「魅力を感じなかったので自分は何とも思わなかったが、一緒に聞いていた友人はすぐにその仕事に取り組み、大きな成果を出した」と言い「同じ話を聞いていても感じ方が違う」と話していました。

日々の生活の中でテレビや新聞などから情報が入り、また街を歩いていても何気なく見ている風景から様々なことを感じます。しかし、その見聞きした情報などを活かす機会は少なく、ほとんど変わりなく過ごしているように感じます。同じ物でも見ている位置によつて見え方が異なるのと同じように、同じ話でも置かれている立場によつて感じ方が違ってくるのではないのでしょうか。

私も仕事においては一方向からだけではなく、様々な視点で物事を見聞きして考え行動するように心がけていますが、仕事を離れるとつい同じ行動パターンを繰り返しているように思います。休みの日でも、いつもと違った方向から考え行動することで視野が広まり、様々な感じ方ができれば新たな発想や発見ができるのではないかと思います。

写真・阿部高嗣 風が光っていた日に



no.557

喜びの タネまき 新聞

幼稚園によって帽子の色は違うかもしれないが、ぼくの思いつきは、黄色い帽子に黄色い声。幼い子らの笑顔は胸のふくらむような幸せの色。

「子どもたちのバス」

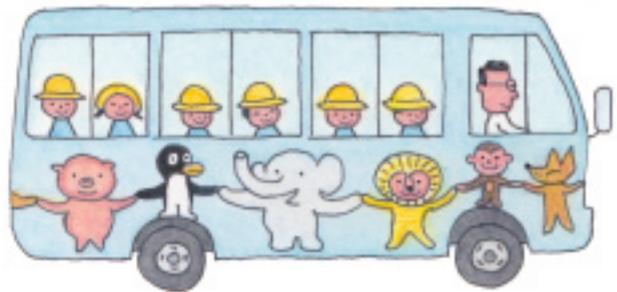
絵を描いていると思わぬこともある。ある時、友人が「頼みたいことがあるんだけど」と言ってきた。「子どもが通う幼稚園の送迎バスに絵を描いてほしい」という。「なんでもた？」と聞くと、「よその園に比べると地味なんだ。文字だけだし」。キャラクターを描いた新興勢力の園に人気を取られているというのだ。

友人は「バスに楽しい絵を描きましよう!」と、園長にでっかいことを言ったらしく、ぼくに何度も拜むように両手を合わせた。それがあまりにも真剣で「バスに絵を描くのも楽しいかも」。そう思った



絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一步二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載の最多記録を更新中。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に陽はのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぽ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。



途端にアイデアが浮かんだ。イメージはこうだ。バスの周りをぐるりとたくさん動物たちが手をつき、バスの後ろではクマくんが手を振っている。バスに乗るときは手をつないだ動物たちの輪に園児たちが入っていく。バスを降りたときはクマくん「また明日ね」と見送る感じだ。さすがにバスの車体に絵は描けないので業者をお願いする。面白いと思ったのか、塗装屋のおやじさんは大きな紙に描いた動物たちを見ると「よっしゃ!」と胸を張った。しばらくすると動物バスが完成。お披露目式を行うのでぜひ来てほしいと友人がうれしそうに誘った。幼稚園に向くと園児全員の歓迎を受けた。「えをかいてく

れてありがとう!」元気な声ときらキラした瞳に何だかうれし恥ずかしい。いよいよバスが登場すると子どもたちは最高潮に達した。それぞれお気に入りの動物たちに話しかける子もいる。最後は、園長さんも若い先生たちも、みんなバスを囲んで記念撮影。「笑顔ついでいな」こんな喜んでもらえるなんて、ぼくは無性にうれしかった。その後、園に行くことはなかったが、園児たちを乗せた送迎バスと偶然すれちがったことがあった。バックミラーを覗くと、バスの後ろで手を振るクマくんの姿があった。「また明日ね」、ぼくもつい顔がほころんだ。20年前のことだ。

家にあるものが大活躍

「寒天おやつ・4種」

食物繊維たっぷり低カロリー寒天に、野菜やフルーツ、ジャムを入れて作ります。おやつ以外にも、前菜やつけ合わせ、お茶づけなど、用途はいろいろ。大活躍します。今回は4種類ですが、いろいろ楽しくアレンジしてください。



お料理研究家 こいけりえ

◎作り方

●寒天作り

1本25cmの棒寒天を使用します。寒天はたっぷりの水に浸して戻し、やわらかくなったら、ちぎっておく。鍋に水500mlを入れて寒天を加え、ゆつくり中火でしっかりと溶かす。

●トマトジュース寒天

湯むぎしたプチトマト3個はシロップに付けて甘くしておく。甘味のあるトマトジュース80mlに砂糖大さじ2を入れて煮立てる。粗熱がとれたらレモン汁小さじ2分の1を加えて、寒天70mlを入れて混ぜ合わせ、再び粗熱をとる。プラスチック容器にプチトマトを入れて、トマトジュース寒天を流し入れる。

●マーマレードジャムの寒天

オレンジの皮をむいて薄皮を取り除き、3〜4房用意する。寒天80mlにマーマレードジャム大さじ3、砂糖大さじ2を入れて火にかけて混ぜ合わせる。そこに、オレンジの絞り汁またはオレンジジュース70mlを加えて混ぜ合わせ、粗熱をとる。プラスチック容器にオレンジを並べて、マーマレード寒天を流し入れる。

●桃とリンゴジュース寒天

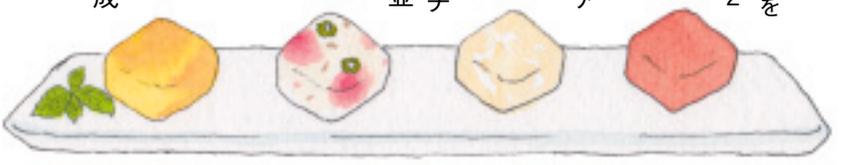
寒天80mlに砂糖大さじ2と果汁100%のリンゴジュース70mlを加えてよく混ぜ合わせて粗熱をとる。プラスチック容器に缶詰めの桃をカットして並べ、リンゴジュース寒天を流し入れる。

●サラダ風寒天

湯むぎしたプチトマトを3個、茹でたオクラ2本を輪切りにしたものを用意する。寒天80mlにコンソメスープ70ml、砂糖、イタリヤンドレッシング各大さじ1を入れて混ぜ合わせ粗熱をとる。プラスチック容器にプチトマトとオクラを並べ、コンソメ寒天を流し入れる。

●冷やし固める

全ての容器にラップをかけて、冷蔵庫で2時間以上冷やし固める。型から出して完成です。



ごきあがり♪

おやつの時間

簡単、美味しい楽ラクレシピ



みんもらびおー!



「ちょっと休もうか」「うん」新潟県柏崎市 近藤達子



「みて、みて!」北九州市 服部恵子



「愛犬イヨは弟より軽いもんね」埼玉県坂戸市 中川碧

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております! (詳細は7ページ)



馬と人の心が通じてこそ

馬搬

ばはん
Japanese Horse Loggers

森から木運び出す作業を人の手と馬で行う馬搬。現在この技術を継承するのは全国で2人。4年前に遠野馬搬振興会を設立し、復活に力を注ぐ岩間敬さん(36歳)をお訪ねした。

岩間さん夫妻とサムライキング。



「ほとくの馬はサムライキングという名です」

奥さんか恋人を紹介するみたいに嬉しそうだった。側で奥さんの光代さんが言い添える。

「サムキンは青毛。青は黒の意です」

動くと毛並みに黒い光が波のように走る。

「撫でてもいいですか?」

黒いすべすべの巨大な馬。温かみと大きな背、太い脚に感動。触れた手に命が伝わってくる。

この十歳馬は人間なら30歳の働き盛りという。

林業の季節は秋から冬。里で収穫が終わわり、山肌を滑らかにする雪が積もると伐った木が扱

いやしくなる。それで残雪の頃に伺った。

街で馬を見かける事はないけれど、つい数十年前までは荷馬、馬耕と日常の暮らしに欠かせ

ない家族のような存在だった。昔日の南部藩では一戸に1頭以上もいたらしい。

それ以前は合戦の馬。馬格や馬力で生死が分かれた

ので、武者にとつて南部馬はいわばブランドだったという。とは言っても、「日本の馬は千年前から小型で、お侍

が乗る馬はみんな小さかった」と岩間さん。在来馬は外国産との混血も進んだが、小型でも力が強く、人になつく。岩間さんの所には各地から飼い主さんが手放した馬が来るし、馬搬

や林業をやりたい人も集結中だ。凍てつく冬のうちから熱心に研修に励んだという「宮城きこり女子会」の田手扶紀さんは上り下りを何度も繰り返しながら、

「愛着が湧きますよねえ」と琴姫を撫でた。300kg、サムキンの3分の1位の二歳馬。ツツと舌で合図すると、引き具に付けた木が滑り出す。

細い道を回りこむと横にザザッとせり出し、離れていてもひやっとした。「林業には危険防止も必要です」斜面で軽々と動く富山県からの若者は、運びやすいように枝を落とし長さも揃える。「福井でも、10年位前まで馬搬の人、居たみたいですが:」

岩間さんの師匠は2人。炭焼きの木を運ぶために習いに行ったのがきっかけ。道もない斜面で「行け」「止まれ」と声をかけ、自由自在に馬を動かす練達の技に感動した。

斜面、重力、摩擦、馬力、雪など自然の全てを活かして使う。もちろん機械も使うが、山に道を作らないので究極の環境保全かも。童顔をほころばせ、つい話が熱くなる。この馬搬、実は英国に伝統が残っていて、岩間さんは4年前に競技会の技術部門で優勝。「貴族は乗馬や狩猟もして馬搬への理解が深く、女性のホースローガー、つまり馬で搬ぶ人もいます」

日本ですたれてしまったもの。木々の間に射し込んでくる光と清い空気。人の手、馬。幻にさせないという人が全国から訪れている。



自然はみんな再生していける。もちろん人力も馬力も。

「背中が広いでしょ。乗って安心感がある馬なんです」





初めての家庭菜園

奈良県三宅町 小坂井佳代

「田んぼ好きに使っていいよ」ここ数年、米作りをしていない友達の言葉で、我が家の畑作りは始まりました。土に触れるのは、みんな初めて。「頑張りや!!」通りすがりのおばあさんにエールをもらって、伸び放題の草の中、クワをふるい、畝を立てて、まさに一からの開墾。初収穫のじゃがいもを家族でいただいた時は、なんとも言えない贅沢な気分でした。今はトウモロコシや枝豆、ナスを栽培。4歳と9歳の娘は、カエルやミミズ、バッタなどを追いかけています。嬉しかったのは、「トウモロコシ、追肥しいや」「ナスの畝はもうちょっと低い方がええでー」「近所のおじさん、おばさんが畑を気にかけて、手伝ってくれて野菜のおすそ分けまで。いつの間にか地域の方とのつながりが広がりました。――たくさん友達が一番の収穫」



サンキュー

大阪府八尾市 宮田仁美

朝、通勤電車に飛び乗り、吊革につかまると、前に座る20代のアフリカ系外国人の青年と目が合った。彼はさわやかな笑顔で「どうぞ」のジェスチャーとともにスツと立ち上がった。慌てて「いえ、いえ」と言いかけたが、彼の「厚意に、ありがとう」と座らせてもらった。4月で67歳。初めて席を譲ってもらった。ドキドキしながら、お礼に彼のデイバッグを膝にのせた。頭の中では英語がグルグル回る。京都に着くと、彼はニッコリしてバッグを手にした。私は「ありがとう」と手を振った。「サンキュー」くらい言えたのにと少し後悔した。その日の帰り、人ごみの中で身体が当たった外国人男性から「ソリー」と言われ、とっさに「ごめんなさい」と私。きちんと英語で話したいとつくづくと思った一日だった。――今日から勉強！ですわ。



祖母と読書

東京都町田市 中田雅子

明治生まれの祖母は、幼い頃から働きづめで、学校へ行ったことがなく、読み書きが出来ませんでした。私が六年生の時、一生に一冊は本を読みたいだろうと思い、『神州天馬侠』という冒険小説を読んであげようと思い立ちました。毎日、学校から帰ると祖母の横に座り、読み進めました。私も本に夢中でしたが、祖母も縫い物の手が止まり、じっと聞き入ってくれました。最後の方で、悪さばかりしていた路上生活の男の子が、母親と巡り会う場面があります。母の胸の中に飛びこんでいく子に、「ああ、おっかさんと会えたのかい。よかったねえ」祖母は遠くを見て呟きました。祖母が幼い一人娘を養女に出して、祖父と再婚したのを知ったのは、ずっと後のことです。今、私は当時の祖母の歳。気がついたのは、私が「本を読んであげた」のではなく、祖母が「聞いてくれた」ということです。私は、その後、読書が大好きになるという、ご褒美をいただきました。――おばあちゃん、さぞ嬉しかったことでしょう。



片道400km

兵庫県伊丹市 大鹿新次

私たち夫婦には96歳になる母がいます。足が弱く耳も遠くなりましたが、かなり達者です。先日、田舎で姉の法要があり、電車の乗り降り考えると、本人は自信がないので出席するか迷っていました。そこへ助け舟！うちの息子、母から見れば孫が、車で連れて行ってくれるというのです。息子は3日間の休暇をもらい、片道400kmを運転し、私達の親孝行の手助けをしてくれました。2泊3日の行事をこなし、私たちは無事に家路に着きました。その翌日、長男の娘に志望大学の合格通知があり、息子夫婦と一緒に喜びました。――孝行がトリプル。良い日でした！



しあわせ

大阪府茨木市 川本典子

初めて2歳前の娘を連れて電車で遠出をしました。丁度おしゃべりが上手になり出した頃で、大声で歌ったりしては困ると思い、ヨーグルト味のタブレットを用意。車内では、最初はおとなしく外の景色を見ていましたが、しばらくすると、チューリップの歌を大声で歌い始めました。「やっぱりー」とタブレットを口の中へポン!! 初めて食べる味にうっとりする娘。「しあわせだね」と話しかけました。なくなると、「ママ、しあわせちょうだい!」「えっ?」娘はタブレットを「しあわせ」という名前だと思ったのです。そんな娘も今は社会人。タブレットを見る度に、あの頃が思い出されます。――久しぶりに「しあわせ」食べてみたい!



息子

佐賀県鳥栖市 篠原正子

息子は私から言わせれば、「東京で夢のためにお金をばらまいている親不幸者」。仕送りと自分のアルバイトで生きている。時折、息子の立つ、無名の小さな公演に観客動員のために上京する。私は方向音痴なので主人まで一緒だ。旅費もそれなり。自分の親ばかりが悔しい。息子に投資した分を記憶して、出世払いにしてやると、恩を売っている。でも、ただ一つ良いことがある。息子には内緒だが、上京してくれたおかげで、私たち夫婦は完成間もないスカイツリーに、浅草や都庁、東京の夜景…と、たぶん一生、観ることもなかったであろう所に行けた。息子の唯一の親孝行だと自分を納得させている。――泣けますね。観光も頑張っ!

95歳ちがいの孫を抱いて



三重県桑名市 難波慶子

王手の将棋

自分自身の立場を、苦しいからとて、泣きごとはかり言っても、決してよくはならない。むしろ困難なれ!と喜ぶことだ。そして、第一に、じっと考える。第二に、うろたえぬ。第三に、負けてはならぬぞと、勇気をふるい起こす。人間生きていく限り、なやみは深いものなのです。自分だけではない。他の人も、なやみにたえている。たえられない事はないはずだ!と、なやみにうちかつ事です。

鈴木清一

あいのわ 愛の輪からのコラム

一緒に考えましょう、「障がい」のこと。 **3** **自分ができることから始めませんか?**

何かお手伝いしましょうか…。街で障がいのある人と出会っても、知らない人に声をかけるのは勇気が必要です。そんな時は無理して声をかけなくても、あなたのできることをすればいいのです。たとえば誘導ブロックの上に置かれた自転車を、さりげなく歩道の脇に移動することだって立派なサポート。まずは身近なことや自分ができることから始めてみませんか?

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。 ☎ 06-6821-5270 HP <http://www.aiinowa.jp/>

愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目標とする。ある企業に、海外での研修支援を行っています。

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

あなたのお便りや写真をお寄せください

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33 (株)ダスキン広報部

ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室 e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

no.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます <http://www.duskin.co.jp/tanemaki/>

4-5ページの「馬搬」の連絡先

〒028-0545 岩手県遠野市松崎町駒木4-106-3 馬力舎 岩間敬 TEL&FAX: 0198-62-1288 E-mail: tks.iwama@gmail.com

ありがとうキャンペーン2015

合計 1万名様に豪華賞品が当たる!

〈賞品の一例〉

※写真はイメージです。



50 リゾートホテル
ペアご宿泊
組様



350 ご当地グルメ
ギフト
名様



応募期間

2015年4月1日(水)~
7月10日(金)

その他、
ダスキン商品や
ミスタードーナツ
商品券などが
当たる!

応募条件

〈ダスキン商品またはサービス〉を定期契約のお客様※で、
ダスキンの会員制サイト「DDuet」にプレミアム会員登録(無料)いただいたお客様

カンタン
3ステップ!

キャンペーン応募の流れ

キャンペーン応募にはDDuetプレミアム会員登録が必要です。
ご応募の前に、**担当店コード**・**顧客コード**を確認してください。

※コードがわからない場合は、ご契約の
担当店にお問い合わせください。

1 会員登録

まだDDuet会員でない方は、
新規会員登録を行ってください。

2 コード入力

会員情報登録時に、「担当店コー
ド」「顧客コード」を入力します。

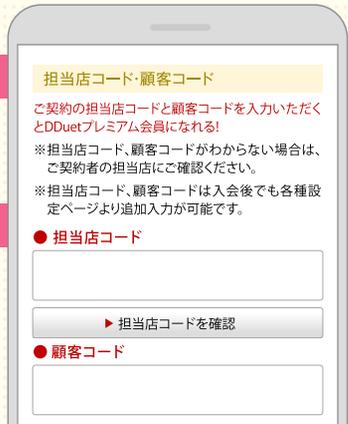
DDuet
プレミアム会員登録完了!

3 応募

DDuetのトップページに表示されているキャンペーンバナーから、ご応募
いただけます。

会員登録および
キャンペーンについて

くわしくは **dduet** 検索
スマートフォンの方は



※応募期間中に別途当社が指定する商品・サービスを1,500円(税込)以上
ご利用いただいたお客様に限りです。

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.co.jp